

1 - 3

すきな数字



活動

すきな数字^{すうじ}を言う^い。

かたち



時間

せつめい編

文 -02 Nがすきです

助 -01 と (並列)^{へいれつ}

使うことば

~さん、1 ~ 12、すき^{いち じゅうに}

談話の技術

準備するもの

手 順

1. クラスを4、5人のグループに分ける。^{にん わ}
2. 1人ずつすきな数字(1 ~ 12)を1つ言う。^{ひとり すうじ ひと い}
数字だけを日本語で言う。^{すうじ にほんご い}
3. グループの人が言った数字を聞いて、<モデルテキスト>(1)のようにノートに書く。^{ひと い すうじ き}
4. グループの中でおたがいにノートを見て、^{なか}
間違いを直す。^{まちが なお}
5. グループの中の1人がみんなの前で<モデルテキスト>(2)のようにまとめて発表する。^{なか ひとり まえ}
^{はっぴょう}
6. 聞いている人は、発表したグループが
言ったすきな数字とその人数をメモする。^{き ひと はっぴょう}
^{い すうじ にんずう}
7. 教師と学習者は聞き取った内容を確認する。^{きょうし がくしゅうしゃ き と ないよう かくにん}

(1) ノート

Aさんは ^{いち}1が すきです。

Bさんは ^{いち}1が すきです。

Cさんは ^ご5が すきです。

Dさんは ^{じゅういち}11が すきです。

わたしは ^{はち}8が すきです。

(2) 発表

Aさんと Bさんは ^{いち}1が すきです。 Cさんは ^ご5が すきです。

Dさんは ^{じゅういち}11が すきです。 わたしは ^{はち}8が すきです。

バリエーション

(1) 数字ごとに好きな人の人数を合計し

順位を調べる。

先生へ

- 自分以外の名前を言うとき、名前の後に「さん」をつける。
 - 男子生徒の名前に「くん」をつける場合もある。
 - 先生の名前には「先生」をつける。
 - 「～さん、～くん」は名字にも名前にもつけられる。
- 例)「さとうゆかりさん」の場合、「さとうさん」とも「ゆかりさん」とも呼べる。
- 数字ではなく「食べ物」「スポーツ」など生徒に身近なもので練習してもよい。